

激動の時代を生きる日本橋

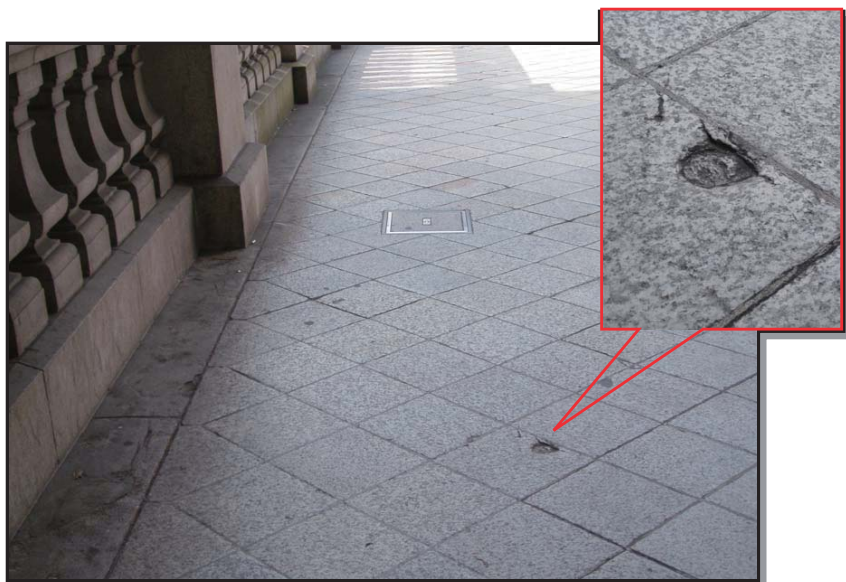
日本橋は、開橋から現在までの約百年間に様々な苦難くなんに合いながらも、開橋当時の姿をとどめ、道路として使われ続けてきました。関東大震災でも壊れこわませんが橋の下で舟が燃えたため、その跡が残っています。また、第二次世界大戦では、焼夷弾しょういだんも受けて傷跡きずあとが残っています。

1964（昭和39）年の東京オリンピック開催のために、高速道路を大急ぎで造ることとなり、1963（昭和38）年に日本橋の上を通る首都高速道路が開通しました。

橋の裏側に残る
火災の跡▶



▲関東大震災 1923（大正 12）年 東京都中央区立京橋図書館所蔵



▲歩道に残る焼夷弾跡 1945（昭和 20）年



▲首都高速道路建設 1962（昭和 37）年頃撮影
東京都中央区立京橋図書館所蔵

1991（平成3）年には、開橋80周年を記念して橋詰広場などのリニューアルが行われました。

また、1999（平成11）年5月13日

には、歴史や文化的な価値が認められ、

国道の道路橋としては初めて国の重要

文化財に指定され、開橋88年（米寿）

に花を添え^そました。『東京市道路元

標』もあわせて文化財

指定の対象になりました。

た。

さらにこの年から、

地元の熱い要望が叶い、

お正月に開催される箱

根駅伝の復路のコース

が日本橋を通るように

なりました。



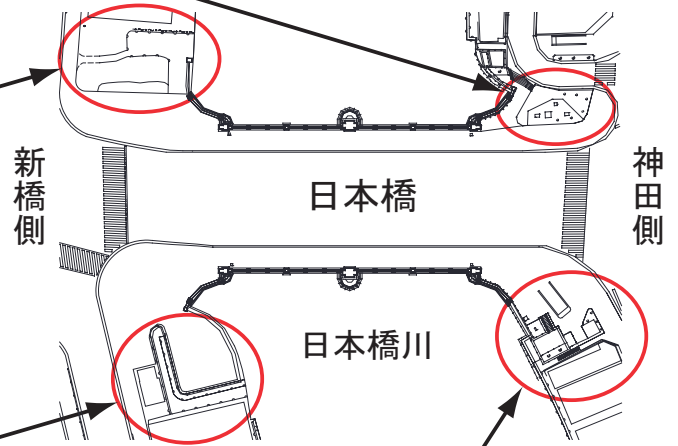
元標の広場



花の広場



滝の広場

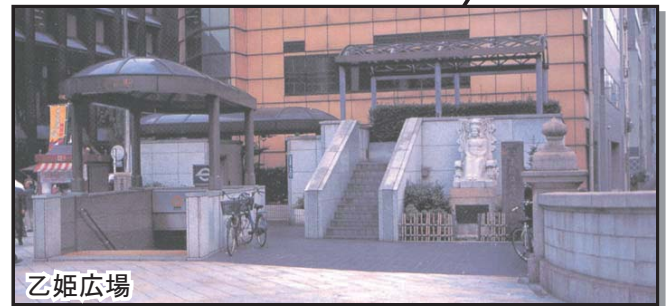


新橋側

日本橋

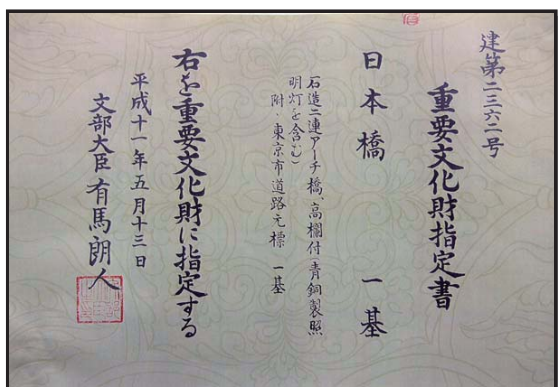
神田側

日本橋川



乙姫広場

▲橋詰広場の整備 1991（平成3）年



▲重要文化財指定 1999（平成11）年



▲日本橋を走る箱根駅伝 1999（平成11）年～